

自衛隊との協力体制を構築せよ



露口哲治(自由民主党)

自然災害や危機管理の面で防災意識が高まっており、災害時の自衛隊の活躍は高く評価されている。国民保護法は災害時にも役に立つ体制づくりであり、国民の生命や財産を守ることを至上命令にした法律と考える。(ア)国民保護計画について小金井市の対応

は。東京都では政府中央防災会議が2月に発表した首都直下型地震の被害想定を受け、都防災会議が開かれ、都地域防災計画の見直しに着手する。当然のこととして市町村でもそれなりの見直し計画に着手するため、防災会議が開かれることとなる。(イ)防災会議に自衛隊の参加を要請するべきだ。自衛隊に地元から郷土愛をもった人を一人でも多く送り出すために、(ウ)市のホームページにも自衛官募集を情報として掲載すべきだ。

住んで良かった安全で安心の街づくりは



伊藤隆文(自由民主党)

①安全安心の街は市民の生命・身体・財産を守る街。大地震等の自然災害の防災と防犯体制づくりの市長見解は。市長 行政と警察・消防の役割、市民が役割を果たすこと。②防災では(ア)地震予知(イ)情報伝達(ウ)都市基盤整備は。(エ)建物の耐震・耐火補強(オ)避難

救助と被災後の復旧・復興は。総務部長 (ア)地震計は市前原駐車場に(イ)消防警察両署と連携し、広報車で総合防災訓練実施(エ)私人建物の耐震補強助成制度なし(オ)市災害対策本部を設置。救助訓練を実施。都市建設部長 (ウ)街づくりで緊急車通行可。駅前広場や道路整備で避難路の確保と延

焼を遮断。落下物防止、高架中央線の脱線時対策は検討。③防犯では(ア)情報漏洩対策(イ)空き交番(ウ)犯罪対策(エ)薬物乱用対策(オ)学校の安全は。総務課長 (ア)個人情報保護条例で。防災交通課長 (イ)9か所での空き交番なし(ウ)防犯体制強化は関係機関と協力、検討する。教育部長 (ウ)セーフティ教室実施。市外重大犯罪は定例校長会等で周知(エ)学校、家庭地域で薬物乱用防止(オ)各学校に警備員、PTAパトロール



区画整理が予定されている梶野通り

東小金井駅周辺まちづくりについて問う



宮崎晴光(民主党)

①東小金井駅北口区画整理事業は、市が最初に権利者の意見を聞かずに進めたため、法的手続きが完了しても一向に進まないが(ア)今回まちづくり協議会が「とりまとめ」を出したか(イ)「とりまとめ」に梶野通りの幅員は地権者の総

意が必要なら見直すところ。見直しをしなければ事業の進捗は難しいと思うがどうか(ウ)区画整理審議会委員選挙に向けて、地元の合意は得られたと思うか。市長 (ア)過去の経緯については不適切な部分があったお詫びして話し合いに入ったので、提出された「とりまとめ



自衛隊が設置したテント(小千谷市)

東小金井駅周辺の開発ビジョンについて



和田茂雄(公明党)

①産学官のベンチャー支援の拠点として、情報・バイオ医療分野の研究技術の集積を図るよう国や都に働きかけを。市民部長 経済産業省、中小企業基盤整備機構、農工大と産学官連携のインキュベーション施設整備について調整しており、最終的な詰め

の拠点は、情報・バイオ医療分野の研究技術の集積を図るよう国や都に働きかけを。市長 梶野公園約一ヘクタールは都から無償で借りているが、有償で借りるか、買取るかの判断を迫られている。環境部長 土地区画整理事業では安全、快適、利便なま

かし国は現在要支援の全部・要介護1の約7割を「新予防給付」にする指針を出している。「これまでのサービスも適切な認め」と言っているが疑問である。(イ)これまでも老人保険事業など国や自治体の予算で行ってきた事業を「地域支援事業」にして介護保険に組み込み財政負担を減

国の介護保険制度改悪にどう対応するのか



関根優司(日本共産党)

ちを指しており、何らかの防災機能を持った公園として整備する必要がある。③南口駅前の回廊を整備し緑地帯を配置して市民による花壇を設置してはどうか。都市建設部長 西側の駐輪場用地はJRから借りていたがその取得に向け交渉してみたい。東側は歯科大のご協力をいただければ、階段のJRの用地確保が検討課題となる。その他「情報のアクセシビリティ」「地域情報化」について質問しました。

ら介護保険の枠内でやらせようとしている。「地域包括支援センター」は現場からも不安の声が寄せられている。福祉保健部長 (ア)平成16年度末の認定者は要支援は616人、要介護1は903人。このうち千255人が新予防給付に行くことになる。(イ)包括支援センターは当初市町村がやるはずだったのが急に「委託可能」になった。現在の在宅介護支援センターの方々を含めた検討委員会を検討したい。

ごみ減量に生かしてみよう有料化



遠藤百合子(自由民主党)

ごみの減量とリサイクル推進に有効な施策として平成17年8月よりごみの有料化が始まるが、(ア)説明会の回数と市民からの質問・疑問にどう対応していくのか。(イ)レジ袋削減のため、毎週土曜日をノーレジデーとし、リサイクル

などで出口調査・キャンペーン等2年間実施してきたが、その評価と今後の方向性として有料化発言を市長会に望みたい。(ウ)生ごみ肥料化事業の推進はどうか。(エ)ごみ減量の意識化も大いに期待できる。まち美化運動アダプト・プログラム の早期実施を。ごみ対策課長 (ア)市の主催、

町会等の要請による説明は計97回で必要に尽し今後も実施清掃指導員体制の充実とごみ事典の作成を予定。(イ)ノーレジ袋運動の浸透は難しい状況の中、エコシール制度を検討(ウ)施肥テストを行い農業従事者の方々に広く理解を求めたい。市長 (イ)市長会等でレジ袋の有料化等を広域的に取り組めるか提案していきたい。(エ)是非、実践したい。環境部長 (エ)十分に検討したい。



拡張が望まれる東小金井駅南口広場